

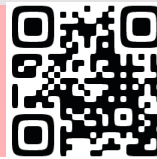
増田かおる

議会レポート Vol.39

2025年5月8日 発行人 増田薫

〒271-0096 松戸市下矢切 89-4 Tel 047-361-2103

<http://www.masuda-kaoru.net/> ⇒
matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com



本郷谷市長が辞任し、6月1日に市長選が行われる運びとなりました(市議会議員補欠選挙同時開催)。辞任の理由は健康上の理由とのことです。市長選で、候補者が、市庁舎の建替えを含めた“大型開発事業等”をどう訴えるのか、しっかり見守りたいと思います。

3月議会の予算審査より



「やりたいこと」より「やるべきこと」を！



「新庁舎整備基本計画策定委託料 4,664 万円と常磐線快速列車 新松戸駅停車資料作成委託料(以下、新松戸駅快速列車資料作成) 984 万 4,000 円の 2 事業を削除する修正案を提出しましたが否決されたため、本予算に反対しました。

本予算に反対した理由は2つ

① 市庁舎移転の既成事実化は、市民をあざむく行為では？！

2023(R5)年策定の「市役所機能再編整備基本構想の改案」にある、“**現地で建て替えと、移転建て替えとの比較**”は踏襲されている、と市は自ら言っているのに「次の基本計画に現地建て替えを検討する考えはない」と、全く議論の余地がありません。市役所の移転は出席議員の3分の2以上の賛成で決まりますが、その“移転条例”を議会に出さずに既成事実を積み上げていこうとする市の姿勢に全く納得できません。また、現地建て替えができない“技術的な理由”も明らかにされず、やはり移転建て替えは、市役所現地の売却目的ではないかと感じました。

② 新松戸駅快速列車 資料作成委託…JRの事業に どうして松戸市の税金、すでに約1億円！？



市はこれまでに6回もの調査や資料作成をしてきました。しかし、ほとんど市民に示されていません。それなのに、7回目の資料作成の予算など、到底認められません。

松戸市に経済的な余裕なし。 市民への説明なし。 将来世代にツケを残すな



市税の収入はほとんど増えず、市の貯金は減少、借金は増える、という予想です。大型事業の概算費用がほとんど明らかにならないので、長期的な財政見通しが示されません。**新焼却炉建設、新松戸駅東側の土地地区画整理事業、新庁舎移転建て替え、学校施設の長寿化…「あれも、これも」ではなく、市民にとって優先度の高い事業から手を付けるべきです。**

本予算には、評価できる事業等も多々ありましたが、大型事業が今後の松戸市の財政に与える影響が分からないこと、市民への情報公開度が非常に低いことなどから、市長はその責任を取っていないと捉え、原案にも反対しました。

新松戸駅東側地区 土地地区画整理事業特別会計に反対

「新松戸駅東側」いったい誰のための事業??税金でマンション建設、公共性はどこに？



新松戸駅東側の開発目的は、約200戸、高さ14mの高層マンション建設です。およそ2.6haのとても狭い土地で地区画整理事業を行うため、**減歩率(※1)**が64.53%と極めて高いのが特徴です。例えば30坪の土地は減歩後、約10坪になります。大きな土地の所有者以外、ほとんどの人は建て替え不可。事実上、合法的な土地の収用です。実際に住んでいる地権者のうち何人がマンション住むのか尋ねましたが、個人情報を守るに市は答えず、今回も事業の概算費用は明らかにされず、マンション建設の必要性の判断ができません。

今回は、住民が担当課宛に出した、「**仮換地指定(※2)**」には納得できない「病人を抱えて引っ越し出来ない」「住み慣れた土地を離れたくない」などと書いた悲痛な手紙を市は「受け取っていない」と答弁するなど、人道的にも、全く納得できませんでした。

減歩率(※1) …土地地区画整理事業において提供する免責の割合のこと
仮換地指定(※2) …地区画整理事業において、現在の土地から、仮に使用できる土地を指定すること(事実上の事業決定)。

まつど市議会
議員個人の賛否及び賛否態度
決定に至った理由や討論 →

